



日本湿地学会第7回大会報告

1. 学術報告会及び特別シンポジウム

2015年9月5日(土), 上智大学四谷キャンパスにて日本湿地学会第7回大会が開催された。学術報告会は口頭発表とポスター発表あわせて19題の報告があり, 70名の参加があった。上智大学大学院地球環境学研究所および上智学院地球環境研究所との共催で開催した特別シンポジウム『湿地研究への多様なアプローチ～海外の経験に学ぶ～』には一般参加も含め80名参加があり, 大盛況となった。懇親会はスクワール麹町で開催した。また, 9月6日(日)には大会エクスカージョン『日本橋川・神田川クルーズ』が開催され27名が参加した。

●第7回大会プログラム

○一般講演

1. 「日本のラムサール登録湿地における戦後60年間の環境変化」安藤元一(ヤマザキ学園大学)・松井友希(東京農業大学)・古矢重架音(ヤマザキ学園大学)
2. 「国指定谷津鳥獣保護区の保全に向けた取り組み」川口究・早坂裕幸・池田宗平(いであ株式会社)・荒牧まりさ(環境省関東地方環境事務所)・永野雄大(環境省関東地方環境事務所成田自然保護官事務所)・名執芳博(日本国際湿地保全連合)
3. 「湿地保全における環境教育の意義と効果的連携に向けた課題－コウノトリ生息地保全水田ビオトープ維持管理を事例に－」田開寛太郎(東京農工大学大学院)
4. 「湿原のシカは一年中湿原に生息しているのか?－釧路湿原におけるGPS首輪装着個体の追跡－」日野貴文・吉田遼人・佐藤温貴・五十嵐守・吉田剛司(酪農学園大学)・村井拓成・立木靖之・赤松里香(NPO法人EnVision環境保全事務所)
5. 「東海丘陵湧水湿地における変遷の一事例－大森湿地群」河合和幸(株式会社 テイコク)
6. 「湿地保全のための発展的解釈」鈴木詩衣菜(上智大学大学院)
7. 「排水路敷設による高層湿原の劣化評価」高田雅之(法政大学)・三島啓雄(国立環境研究所)・島村崇志(北海道立総合研究機構)
8. 「インドネシア「泥炭湿地林周辺地域における火災予防のためのコミュニティ能力強化プロジェクト」の成果と教訓(事例報告)」新井雄喜(国際協力機構)
9. 「湿地保全活動の展開のESDとしての意義と可能性～兵庫県豊岡市におけるコウノトリ野生復帰事業を事例に～」石山雄貴・黄衛鋒・秦範子(東京農工大学大学院)・丸谷聡子・稲木瑞来(同志社大学大学院)
10. 「東海地方における湧水湿地の分布と特徴(中間報告)」富田啓介(法政大学)・上杉毅(赤津自然観察会)・澤田與之(シデコブシと自然が好きな会)・籠橋まゆみ(可児ネイチャークラブ)・早川しょうこ(シデコブシと自然が好きな会)・大畑孝二((公財)日本野鳥の会)・小玉公明(おかざき湿地保護の会)・大羽康利(渥美自然の会)・山田祐嗣(まるっと環境クラブ)・鬼頭弘(日進岩藤川自然観察会)・鈴木勝己(豊田植物友の会)・楯千江子(シデコブシと自然が好きな会)・河合和幸(可児ネイチャークラブ)・高田雅之(法政大学)
11. 「ラムサール条約締結国会議におけるCEPAの展開とcapacity buildingについて」佐々木美貴(日本国際湿地保全連合)
12. 「『湿地の文化と技術 東アジア編』の成果と今後の課題について」笹川孝一(法政大学)

○ゲストスピーチ

13. 「A Planetary Boundary Based Framework for Regional Sustainable Development Assessment in Heihe River Basin」 Heng Ti Teah・秋山知宏（東京大学）
14. 「Conflicts between biodiversity conservation and economic development -A case of Phu-My Lepironia wetland conservation project」 Luong Thien Tam（ベトナム国立科学大学）

○ポスター講演

- A 「中国北東部に位置する大伏房湿地の水質の実態に関する調査研究」 康馨藝（上智大学）
- B 「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議について」 安藤美香・柴田美貴（ラムサール条約登録湿地関係市町村）
- C 「カラカネイト トンボの生息地・篠路福移湿原再生の取り組み」 石橋佳明（NPO 法人カラカネイトトンボを守る会）・新庄久尚（株式会社エコテック）・古村えり子（北海道教育大学札幌校）・綿路昌史（NPO 法人カラカネイトトンボを守る会）・木村浩二（雪印種苗株式会社）
- D 「霧多布湿原におけるエゾシカの生息状況と行動」 佐藤瑞奈・漆原悟（酪農学園大学大学院 野生動物保護管理学）・吉田剛司（酪農学園大学）
- E 「指標種を用いた湿原植生に及ぼすニホンジカ影響評価手法の検討」 稲富佳洋（北海道立総合研究機構）・日野貴文（酪農学園大学）・島村崇志・長雄一（北海道立総合研究機構）・吉田剛司（酪農学園大学）・宇野裕之（北海道立総合研究機構）
- F 「Sophia University × Kushiro Wetlands: A Ten-Day Field-Based Course from Students' Perspective」 落合ゆり・菅由美佳（上智大学）
- G 「流水型ダム貯水池を活用して創出された湿地環境の氾濫原依存種の生息場としての評価－鹿児島県西之谷ダムを対象として－」 田辺篤志・皆川朋子（熊本大学大学院）・中島淳（福岡県保健環境研究所）・島谷幸宏（九州大学工学研究院）

●特別シンポジウム『湿地研究への多様なアプローチ～海外の経験に学ぶ～』

○基調講演

1. 「Integrated study of the water-ecosystem-economy in the Heihe River Basin: Towards ecosystem restoration in an inland river basin」 李 新 教授（中国科学院 寒区旱区環境与工程研究所）
2. 「Green Economy in a Blue World-Implementing sustainable development in Wetlands of Southeast Asia」 Theo Ebbers 博士（アジア工科大学院湿地系アクア・アウトリーチ・コーディネーター）

○パネルディスカッション

・パネリスト

李新（中国科学院），テオ エバーズ（アジア工科大学院），新井雄喜（国際協力機構），保屋野初子（日本自然保護協会），鈴木詩衣菜（上智大学大学院）

・ファシリテーター

黄光偉（上智大学大学院）

●大会実行委員

実行委員長 黄光偉（上智大学）

事務局長 鈴木詩衣菜（上智大学）

実行委員 安藤元一（ヤマザキ学園大学）、名執芳博（日本国際湿地保全連合）、磯崎博司（上智大学）、
笹川孝一（法政大学）

2. 2015 年度理事会

第一回目の理事会を 2015 年 5 月 12 日（火）に法政大学にて、第二回目の理事会を 2015 年 9 月 4 日（金）上智大学にて開催した。

第一回理事会では、理事の協議により第 3 期日本湿地学会理事会（2015-2018）人事を以下のように確定した。

会 長 島谷幸宏（九州大学）

副 会 長 安藤元一（ヤマザキ学園大学）、名執芳博（日本国際湿地保全連合）

企画担当理事 大畑孝二（日本野鳥の会）、笹川孝一（法政大学）

総務担当理事 小林聡史（釧路公立大学）

財務担当理事 佐々木美貴（日本国際湿地保全連合）

編集担当理事 朝岡幸彦（東京農工大学）、高田雅之（法政大学）

研究担当理事 國井秀伸（島根大学）、矢部和夫（札幌市立大学）

広報・国際交流担当理事 新井雄喜（国際協力機構）、山下博美（立命館アジア太平洋大学）

事務局 長 牛山克巳（宮島沼水鳥・湿地センター）

事務局 次 長 林博徳（九州大学）

また、日本湿地学会編集委員会細則第 4 条に基づき、高田編集担当理事を編集委員長として選任し、会長がこれを委嘱した。会計関連では、2014 年度事業及び決算報告、2015 年度事業計画及び予算案、会費の納入方法の利便性向上について、長期未納者の取り扱いについて協議を行った。大会関連では、2014 年度大会の決算報告があり、2015 年度大会に向けた協議を行った。その他に、次回理事選挙に向けた協議、図説『日本の湿地』の進捗状況の報告、部会の設置についての提案があった。

第二回理事会では、翌日の大会および総会に向けた協議を行った他、理事の役割分担、学会の名義使用、未納会員の取り扱いについて、それぞれの覚書に関する協議を行った。また、編集委員会より学会誌刊行・投稿規定から「別刷」に関する規定を削除する改訂案が示され、理事会で了承された。その他にも、英語版 HP の作成、部会立ち上げルールについて提案があり、今後の検討課題とした。

3. 2015 年度総会

2015 年 9 月 5 日（土）、上智大学四谷キャンパスにて総会が開催され、45 名の参加があった。なお、委任状の総数は 29 通、すべて議長に一任であった。

議事の概要は以下の通りである。議長は矢部和夫理事、記録は林博徳事務局次長が行った。

◇議事 1 2014 年度事業及び決算報告

資料に基づき牛山事務局長より 2014 年度事業報告が、佐々木財務担当理事より 2014 年度決算報告があった。林監事より監事を代表して予算執行が適切であったことの報告があり、承認された。

◇議事 2 2015 年度事業計画及び予算案

資料に基づき牛山事務局長より 2015 年度事業案、佐々木財務担当理事より 2015 年度予算案の説明があり、承認された。

◇議事 3 監事の選出と承認について

監事の選出・任期について牛山事務局長より説明がなされた。事務局提案により、林監事の続投と、兵庫県立大学名誉教授の岡田先生の推薦が提案され、承認された。

◇議案 4 その他

1) 学会誌刊行・投稿規定の改定について

高田編集担当理事より、編集委員会において別刷りの発行の廃止を提案し、理事会で承認された旨が報告された。あわせて、積極的な論文投稿について依頼があった。

2) 日本学術会議協力学術研究団体指定について

島谷会長・牛山事務局長より、日本学術会議協力学術研究団体指定を受けた旨の報告があった。

3) 理事会からの報告事項

牛山事務局長より前日に行われた第二回理事会の協議内容について報告があった。

4) 2016 年度大会について

國井理事より、来年度の開催地は島根県松江市、開催日は 9 月 3 日（土）、4 日（日）と決まった旨の報告がなされた。ただし、その後、同日に応用生態工学会が開催されることから、開催日を変更し、1 週間繰り上げた 8 月 27 日（土）、28 日（日）とすることに決まった。

（日本湿地学会事務局）